

図書館だより

1号



今日から6月になり、先月末からようやく授業スタートしました！

まだまだコロナウィルスで不安な状況が続いていますが、図書館では新着図書が次々と届いています。コロナ対策として、当面の間、図書館利用について規制はありますが、1年生も本の貸出できますので、図書館まで本を見に来てくださいね★

図書館利用について

◎図書館利用方法

貸出・・・一人3冊まで2週間の貸出です。
(マンガは貸出できません。雑誌はバックナンバーのみの貸出です。)

返却・・・図書館カウンターor 本館1階と図書館出入り口付近にある返却ボックスに返却できます！

リクエスト・・・読んでみたい本があれば司書に声を掛けてください！

◎図書館コロナ対策について

1. 図書館に入退室する時は、マスク着用と手をアルコール消毒してください。
2. 当面の間、**貸出返却のみ**の利用とします。
3. 長時間での図書館利用(調べ学習やレポートや提出物の作成など)は行わないでください。
4. 座席数を大幅に減らしました。本を選ぶために必要な滞在時間中は、その他の利用者との身体的距離と利用時間を考え利用してください。

図書館での3密(密閉・密集・密接)を避けるため、1～4のようなルールを守り利用してください😊

図書館担当職員 の紹介

好きな作家さんや本、趣味など紹介します！図書館は本を読むためだけの場所ではないので、ぜひ、先生たちとも色んなお喋りをしましょー！待ってます♪

★図書館長2年目:畑中 先生(情報システム科)

◎好きな作家さん→ 森見登美彦さん

森見さんが他の作家さんと違うのは、小説ごとに主人公が違うのですが、その主人公同士が本を飛び越えて絡み合っていくのです。そしてそれは新刊でも繋がって、モリミーワールドがどんどん膨らんでいます。読めば読むほど仕組まれた仕掛けに気付いて「ふっ…」と笑ってしまえるのです。

◎好きな本→『蜜蜂と遠雷』 恩田陸(著)

本を読んで、音楽が聞こえる。表現はおかしいですが、まさにそんな感覚でした。長編なのも苦にならずのめり込んで読んだ一冊です。読後のあの余韻…まさにコンサートが終わった静けさをかみしめるひととき。あ、私、伊都管楽アンサンブルでアルトサックスを吹いてました。



◎趣味→ 写真

カメラを持ってあちこち撮り歩いて、たまに写真展やら…。小説の舞台を訪ね撮り歩くのも好きで、高山市界限、京都吉田神社、出町ふたばの豆餅、西宮北高校などなど…さて、何の小説の舞台でしょう。わかりますか？



★学校司書:安保 (図書館専任です)

◎好きな作家→小川 糸さん

いつも心をホッパリ温かくしてくれる物語を描く作家さんです。共感できる部分があるからでしょうか、いつも安心して読めます。食や生命、家族をテーマにした物語が多いように思います。

◎好きな本→現実世界から離れた内容の小説が好きです。ホラーとかファンタジー、ミステリーも好き。実は、推理小説が苦手。探偵とか、、、。オススメの本は図書館まで聞きに来てください😊

◎趣味→ドライブ、美術・音楽の芸術鑑賞や、博物館とか図書館巡りも好き。日常生活から離れた場所に行って、見て聞いて刺激を受けつつ、心を充電できる場所が好きです。どこかオススメの場所があったら教えてください！

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99

クスの木の人

THE CARBONISING COFFIN

東野圭吾

KUSONOKI

祈れば願いを叶えてくれるという不思議な“クスノキ”。その木の番人を任されたのは、破天荒な人生を送ってきた主人公の直井玲斗。伯母の救いの手によって番人という職に就いたけれど、どんな力をもったクスノキか何も聞かされないまま……。祈りにくる人たちや伯母と関わりながら、直井は成長していきます。クスノキの謎が解き明かされていく時、心がジーンとしますよ。感動版の東野ワールドです*映画になりそうな感じの一冊。



新学期が始まったばかりのこの時期にぴったり！元気に過ぎ
ましょー★

などなど、お便りでは紹介しきれないので、ぜひ図書館まで！